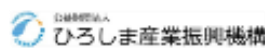


ひろしま自動車産学官連携推進会議 主催

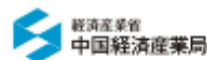
次世代液体燃料 シンポジウム 2024



HIROJIREN



ひろしま産業振興機構



経済産業省
中国経済産業局



MAZDA



広島県



広島大学



広島市
The City of Hiroshima

2024年2月9日(金)

13:00~16:05 (12:00受付開始)

現地開催 および オンラインライブ配信

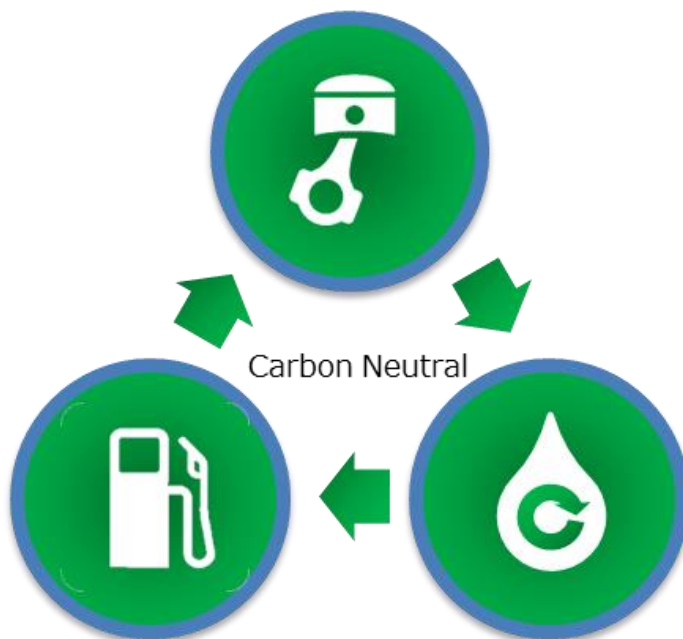
場所 TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前2階 ホール2A

(広島市南区大須賀町13-9) 広島駅南口(在来線口)を出て右です。お間違えなきよう。

定員 会場 70名・オンライン 500名

オンラインライブ配信については、お申込み後に、配信を行う(有)ビデオパックより、視聴用URLをメールでご案内します。

無料



お申し込み方法

下記URL、または右のQRコードよりイベントホームページへアクセスいただき、必要事項をご記載の上お申し込みください。

イベント申し込みHP

申込締切：2024年2月7日17時

現地参加の方もこちらから登録に入り、現地参加/オンライン参加を選択してください。

<https://events.teams.microsoft.com/event/d1845d1e-b923-4c57-b3cc-68f594b6b3ad@d34afda0-bad3-4985-ae6c-c9bb83012a85>



ご挨拶

2050年カーボンニュートラル（以下、CN）社会実現に向け、昨年開催された G7広島サミットでは脱炭素化に向けた多様な道筋の重要性、COP28では化石燃料からの脱却に向けた行動の加速について、合意がなされました。

日本国内においても、温室効果ガス排出削減への取り組みを経済成長の機会として捉え、化石燃料を中心とした現在の産業・社会構造をクリーンエネルギーへと転換する取り組みが進められています。このうち国内で排出されるCO₂の約17%を占める運輸部門では、ニーズの高いバイオ燃料や合成燃料の普及に向けた事業化や支援の動きが着実に広がっております。

ひろしま自動車産学官連携推進会議でも、次世代バイオ燃料の普及支援と地産地消に向けた実証事業を通じ、Well-to-Wheel / LCA視点でのCO₂削減に取り組んでいます。昨年発足した中国地域CN推進協議会 CN燃料推進部会へ加わり、利用拡大に向けた活動の輪を着実に広げてまいりました。

本シンポジウムでは、化石燃料に代わる次世代液体燃料の量産化に向けた取り組み、持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくりの取り組みをご講演頂きます。皆様のご参加心よりお待ちしております。

ひろしま自動車産学官連携推進会議
エネルギー専門部会長 佐賀 尚人

次第

13:00～13:10

開会挨拶

- ひろしま自動車産学官連携推進会議 エネルギー専門部会 部会長 佐賀 尚人（マツダ(株) 執行役員）

13:10～13:50

カーボンニュートラル社会実現に向けた次世代燃料のあり方について

- 資源エネルギー庁 燃料供給基盤整備課 信末 直人

13:50～14:30

微細藻類バイオ燃料の実用化に向けた取り組み

- 株式会社ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充

14:30～14:40

（休憩）

14:40～15:20

カーボンニュートラル社会の実現に向けた ENEOS の取り組み

- ENEOS株式会社 中央研究所 菅野 秀昭

15:20～16:00

佐賀市が目指す持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり

- 佐賀市バイオマス産業推進課 藻類産業推進室 川原田 格

16:00～16:05

閉会挨拶

- ひろしま自動車産学官連携推進会議 議長 田邊 昌彦（ひろしま産業振興機構 代表理事副理事長）

お問い合わせ先

ひろしま自動車産学官連携推進会議 事務局・共創連絡会窓口
広島県広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ
ひろしま産業振興機構 カーテクノロジー革新センター内
電話 082-207-0566